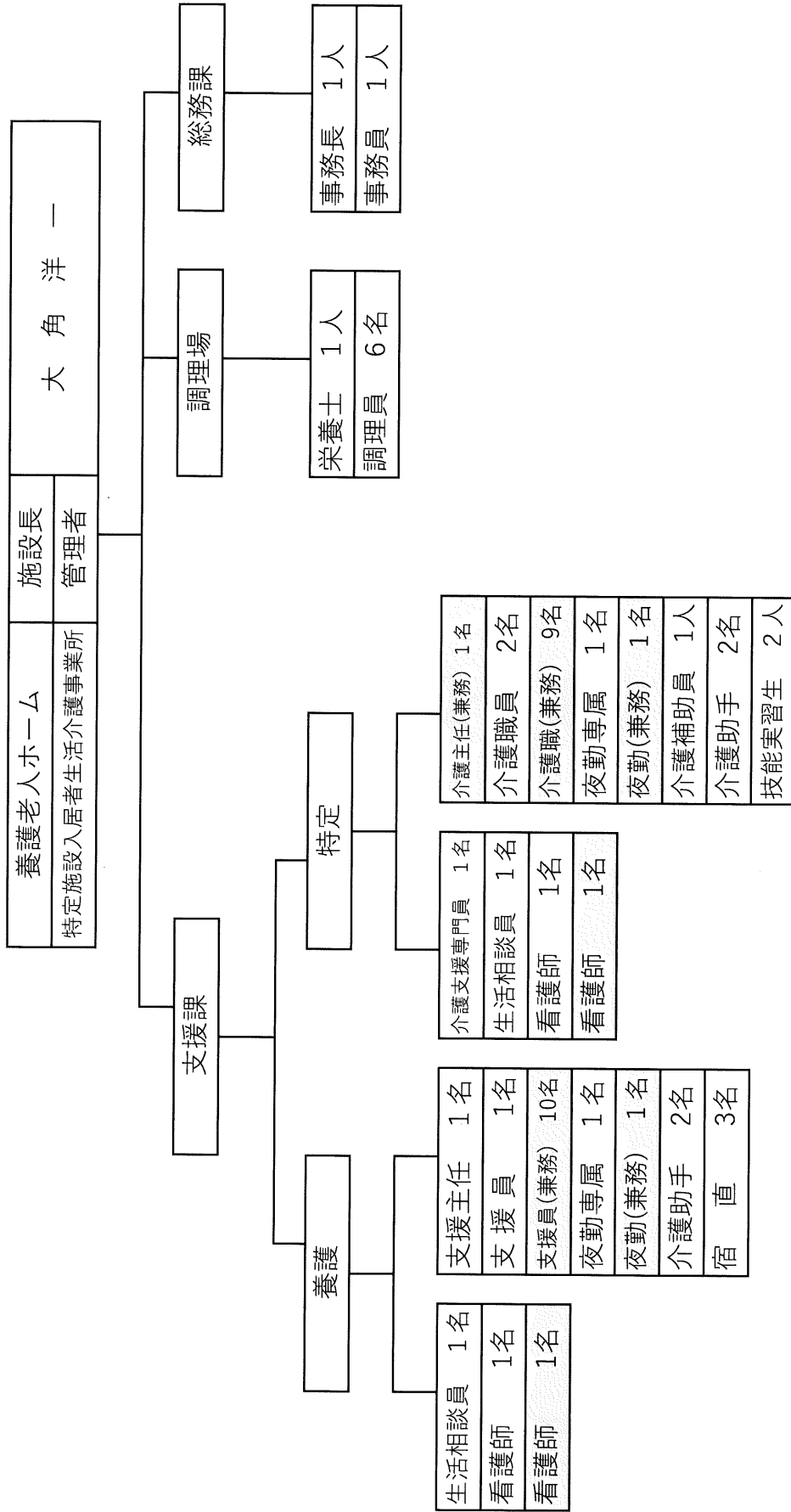


令和6年度

事業計画書（案）

養護老人ホーム朝海荘

朝海荘組織図



※ 兼務職員

1. 職員配置

No.		職 種	年齢	備 考
1	正	施 設 長 (兼)	65	
2	正	事 務 長	53	技能実習責任者
3	有	事 務 員	37	清和園より異動
4	正	生 活 相 談 員	38	介護福祉士、社会福祉主事
5	パ	看 護 師	65	准看護師
6	パ	看 護 師 (兼)	66	正看護師
7	正	栄 養 士	57	栄養士
8	正	主 任 支 援 員	38	介護福祉士・アセッサー
9	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	30	実務者研修
10	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	48	実務者研修
11	正	支 援 ・ 介 護 主 任 (兼)	56	介護福祉士
12	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	48	介護福祉士
13	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	23	初任者研修
14	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	51	介護福祉士
15	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	20	
16	有	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	36	
17	有	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	58	
18	有	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	41	初任者研修
19	有	支 援 員	24	
20	継	夜勤専属 (兼 ・ 非常勤)	63	初任者研修
21	パ	夜勤支援員 (非常勤)	55	
22	パ	介 護 助 手 (非常勤)	61	
23	パ	介 護 助 手 (非常勤)	61	
24	パ	調 理 員	64	
25	パ	調 理 員	59	
26	パ	調 理 員	45	
27	パ	調 理 員	49	
28	パ	調 理 員	66	
29	パ	調 理 員 (非常勤)	62	
30	パ	宿 直 (非常勤)	63	
31	パ	宿 直 (非常勤)	74	
32	パ	宿 直 (非常勤)	61	

2. 事業目標

毎年、朝海荘では各部署（チーム）に分かれ、当年度の取り組みを前年度の反省を踏まえて協議しながら決定します。チームごとに目標を設定する事でお互いの意識を高め合い、ご利用者へも、より質の高いきめ細やかなサービスを提供できるよう取り組むためです。また、3S活動を取り入れ職場環境の整備や、感染症対策についても引き続き施設全体で取り組み、感染症対応力の向上に努めます。

(支援課)

1. 体操強化

ご利用者が楽しく参加できるように、体操の内容を見直し、参加率の向上につなげていく取り組みを強化します。

2. レクリエーションの充実

レクリエーションの企画担当者を配置し、活動内容をさらに充実させ、ご利用者の笑い声や笑顔を増やせる内容を計画します。

3. ご利用者に声に応える

ご利用者の希望を可能な限り叶える日「のぞみプラン」を実施します。今年には施設内だけの写真掲示ではなく、ご家族へも幸せを共有していただくために“夢がかなった写真”に“ご利用者の気持ち”をメッセージとして添え発送します。

4. 外出支援の充実（地域住民との交流）

地域住民が交流の場としている足湯に、毎月参加者を募り外出します。

(医務)

1. 入院者数を減らす

ご利用者が入院せずすむよう毎日の検温やバイタルチェックを通して体調を確認し、体調変化の早期発見に努め対応します。

2. 褥瘡の発生を減らし、早期治癒をめざす

褥瘡予防のために、栄養状態を把握し食事摂取量の把握や入浴時、排泄時においては皮膚トラブル等をデータ化「ブレーデンスケール」取入れ、早期発見に努める。また発生後においては各部署と協力して早期治癒に努めます。

(栄養)

1. 献立に郷土料理や家庭的な雰囲気盛り込み、季節の材料を取り入れ、利用者の嗜好を尊重し、彩りよく変化にとんだ献立を提供します。また、特別食の方にもできる限り、同様のメニューを配膳間違いがないように提供します。

2. ご利用者と一緒に季節を味わえるクッキングや、各地区に伝わる「伝統の味」をご利用者から受け継ぐ機会を取り入れます。さらに出来上がったものを一緒に食しながら、楽しい時間を過ごせるクッキングの時間にします。

(総務)

1. 広報活動

HPやインスタグラム、広報誌の作成の他、各地区の行事等にも参加しながら施設内容や契約入所等の啓発活動をおこないます。また、困った事がある時に気軽に相談できる場所として、地域における「朝海荘」信頼関係を構築していく。

2. 朝海荘カラオケ大会

月2回のカラオケの日においては地域の方でも気軽に参加できるようにし施設を開放し、のど自慢対決する機会を増やし、地域の方との交流の場・施設の雰囲気を体験できる場を提供します。

【施設設備】

1. ノーフティンクに重点を置いた介護ロボットの導入（補助金等活用）
2. 消火用散水栓の整備

3. 事業実施内容

(1) 生活支援

①食事支援

栄養管理をおこない、季節感あふれた美味しい食事を提供し、心豊かな生活を送ってもらえるように工夫していく。調理環境を整備するとともに、細菌検査（検便）を月に1度実施する。また、食事時間等は、食事毎次の時間に配膳をし、順次食事を行う。

[朝食8：00 昼食12：00 おやつ14：30 夕食17：00]

※食事介助が必要なご利用者については、それぞれ30分前の早飯を実施

②入浴支援

入浴回数は、原則として週2回行う。その他にも必要に応じ対応します。

③排泄支援

おむつ交換は、定時交換及び随時の個別確認により実施し、利用者の状況に応じてトイレ誘導支援を行う。

④移動支援

施設内の移動や病院への通院、買い物ドライブ等の際の移動支援を安全に実施していく。

(2) 健康管理

医療機関と連携を密にして健康管理を行います。適時体温測定や入浴日の血圧測定をはじめとした一人ひとりの健康状態を把握し、常備薬等の管理を行う。また誤薬を起こさない為に、マニュアルを定期的に見直し、現状に応じた服薬方法を確立する。身体の変化又は異常が認められた時には、嘱託医の診察や状況報告を行い適切な対応をする。施設内感染を予防するため、引き

続き手洗いうがいの励行、換気等徹底し、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症など感染症ウイルスを持ち込まないようにする。

(3) 預かり金管理

自主管理が難しい利用者の預かり金は、「社会福祉法人清和会預り金等規程」に基づき適正に管理を行う。

4. 医療機関による診察

診療科	回数	参 考	病 院 名
内 科	月 2 回	嘱託医により定期的な診察	奈良尾医療センター
	年 2 回	健康診断	
整形外科	適 宜	入所者の状況に応じて受診	奈良尾医療センター 上 五 島 病 院
皮 膚 科	適 宜	入所者の状況に応じて受診	奈良尾医療センター
眼 科	適 宜	入所者の状況に応じて受診	上 五 島 病 院
精 神 科	適 宜	入所者の状況に応じて受診	上 五 島 病 院
歯 科	適 宜	往診により対応	奈良尾歯科診療所

5. 勤務形態

	勤務形態	勤 務 時 間	休 憩 時 間
支援・介護員 (補助員・助手)	早 出 1	6 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0	1 時間
	早 出 2	6 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0	1 時間
	日 勤	8 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0	1 時間 30 分
	遅 出	1 3 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0	1 時間
	夜 勤	2 1 : 5 0 ~ 8 : 5 0	3 時間
一 般 職	日 勤	8 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0	1 時間
看 護 師	日 勤	8 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0	1 時間 30 分
調 理 員	日 勤	6 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0	1 時間 ~ 2 時間
宿 直 専 門	宿 直	6 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0	実労働 2 時間

多様な働き方として、職員の希望に合わせた短時間勤務もあります。

6. 利用者の状況

令和6年3月1日現在

利用者状況			要介護度人数（平均介護度2.50）			
	男	女		男	女	合計
入所者数	11人	39人	要支援1	0	1	1
最年少	75歳	71歳	要支援2	0	2	2
最高年齢	92歳	100歳	要介護1	3	8	11
平均年齢	84歳	88歳	要介護2	1	1	2
合計平均	87歳 (+1)		要介護3	1	3	4
			要介護4	1	4	5
			要介護5	0	6	6
			認定無	5	14	19
			合計(人)	11	39	50
年齢構成表						
			男	女	合計	
60歳	～	69歳	0	0	0	
70歳	～	79歳	4	6	10	
80歳	～	89歳	3	11	14	
90歳	～	94歳	4	11	15	
95歳	～	99歳	0	10	10	
100歳	～		0	1	1	
合計(人)			11	39	50	

7. ゆとりある多様な活動

(1) 年間行事

感染対策をおこないながら、外部からの慰問や外出等もおこなっていきます。また、施設内でのイベントも例年通りではなく、より楽しんで頂けるよう工夫します。

月	項目	備考
4月	遠足	気分転換にお弁当を持参し、外で食事をします
5月	母の日	メッセージと花束贈呈
	教会巡り	マリア様の月に町内の教会を巡礼しお祈りする
	外食	外食に出掛ける
	クッキング	おやつ作り
6月	魚釣り	近場で魚釣りをし、調理をしてもらい皆で食べる
	父の日	メッセージとビール(ノンアル)、つまみ提供

7月	七夕	七夕飾りの作成し季節行事を楽しんで頂く
	納涼祭	季節行事として実施。可能ならば家族との交流
	クッキング	おやつ作り
8月	ソーメン流し	食欲低下防止のため、楽しみながら食事をしてもらう
9月	敬老会	敬老の日をお祝いする（できれば家族も参加）
	クッキング	おやつ作り
10月	朝海荘運動会	ご利用者と職員が一緒に楽しめる競技を企画
11月	お楽しみイベント	朝海荘カラオケ大会
	クッキング	おやつ作り
12月	クリスマス会	クリスマスツリーを飾り、プレゼントを贈る
	忘年会	楽しいイベントを企画し、1年を振り返る
1月	新年会	新年を皆さんとお祝いします
	クッキング	おやつ作り
	節分	豆まきをして季節行事を楽しむ
3月	ひな祭り	ひな壇を飾り季節行事を楽しむ
	クッキング	おやつ作り

◎偶数月には誕生会を実施。奇数月にはクッキングをおこないます。

また、個人の誕生日にはケーキを提供し、希望を叶える特別な日にできるプランを実施します。

◎福祉祭や福祉スポーツ大会等外部での行事には可能な限り参加をします。

(2) 外部との交流

家族や地域の方との触れ合いはご利用者にとって最大の楽しみです。感染予防を第一に、周囲の感染状況を把握しつつ、外部との交流場所の提供・交流の機会を作っていきます。また、ホームページやインスタグラム等で情報発信を行ないます。

(3) 家族との交流

相談員や担当者より定期的に状況報告を行ない、処遇計画作成に参加してもらうなどご家族との関わりを積極的に深めます。また、面会時にはご利用者の近況報告、不用品に関する相談等を行ないご利用者が安心して生活が出来る環境づくり、家族が信頼して相談できる関係を構築していきます。

(4) 喫茶の日を設けティータイムの実施

軽音楽を聴きながらゆったりとした雰囲気の中でご利用者同士の触れ合いを目的として、毎週土曜日に喫茶「あさみ」を開設し、コーヒー、紅茶、ココア、緑茶等を提供していく。

8. 会議

老人福祉事業としての理念、目的及び基本方針や施設の管理・運営、支援の方針の統一化を図るために、適宜、職員会議を開催する。また、福祉施設における法令遵守が強く求められていることから、法令遵守責任者を中心に業務管理体制の周知を徹底する。

9. 委員会

各職種の代表の参加によりご利用者の生活支援や安全対策の向上と充実を図るため、下記の委員会を設置し、委員会の定期及び適宜開催し活動を積極的に展開する。

委員会名	開催回数	内 容
感染対策委員会	年4回 (随時)	・コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の予防と対策 ・シュミレーションの実施(年2回)
排泄委員会	年4回 (随時)	・ご利用者の状態に合わせた排泄支援が提供できるよう排泄計画の策定 ・勉強会の実施
安全対策委員会	毎月	・ヒヤリハット・事故報告に基づく内容の検証及び再発防止対策、勉強会の実施
虐待・身体拘束 接遇委員会	年4回 (随時)	・身体拘束及び虐待についての勉強会の実施 ・虐待、接遇に関すること
褥瘡防止委員会	年4回 (随時)	・褥瘡防止に関すること ・褥瘡が発生するリスクが高い方の把握と体位交換表の作成
業務改善・ノーリフ ティング推進委員会	年4回 (随時)	・業務の効率化について ・ノーリフティングケアにおけるヒヤリハットの集計及び対策についての検討
給食委員会	毎月	・嗜好調査の実施との対応 ・献立及び配膳の仕方 ・衛生管理

10. 苦情対応体制

苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を選任し、適切な苦情処理体制を整備する。

担 当	氏 名	役 職
苦情解決受付者	岩崎なるみ	主 任
苦情解決責任者	大角洋一	施設長

第 三 者 委 員	森 藤 敏 幸	元新上五島町社会福祉協議会会長
第 三 者 委 員	平 田 昌 一	地区区長

1 1 . 人 材 育 成

職員の成長と組織の発展を目指して、朝海荘人材育成基本方針に基づき、職場内研修や職場外研修を計画的に実施する。

(1) 職場内研修 (OJT)

主任が中心となって開催する職場内研修を計画的におこないます。

また、外部講師を招いての介護技術の向上へ向けた研修会も実施して行う。

※清和会新卒者対象研修を実施予定 (支援・介護職員 1 名)

開催月	研 修 内 容	備 考
4 月	安全対策、災害シミュレーション勉強会	
5 月	褥瘡対策、感染症の理解と訓練	
6 月	事業報告・決算概要について	全職員対象
7 月	身体拘束、虐待、接遇について	
8 月	介護技術	
9 月	事業の進捗状況他諸課題について	全職員対象
1 0 月	業務継続勉強会	
1 1 月	感染症の理解と対応力向上、安全対策	
1 2 月	事業の進捗状況他諸課題について	全職員対象
1 月	介護技術	
2 月	身体拘束、虐待、接遇について	
3 月	運営方針・事業計画・予算について	全職員対象

※安全対策、感染、身体拘束、虐待、業務継続計画については年 2 回勉強会を実施します。

(2) 職場外研修内容 (OFF-JT)

長崎県老人福祉協議会他関係団体主催の島外研修及び上五島保健所、上五島病院主催の案内に基づき適宜参加します。

	研修内容	会 場	参加者
生涯研修過程	初任者研修	オンライン他	支援・介護員
	中堅職員研修会		介護員
	チームリーダー研修会		主任・支援・介護員
	管理者研修		施設長・事務長・主任
	実務者研修		介護員

専門	感染症予防・対応力強化研修	感染委員
	メンタルヘルス研修	事務長・主任他
	高齢者権利擁護セミナー	介護員
	認知症ケアの基本	介護員
	介護実践事例研究 研修会	介護員
	施設看護師研修会	看護師
	リスクマネジメント	介護支援専門員
	安全対策担当者養成研修会	主任・生活相談員
	排泄ケア実践ポイント	排泄委員
	虐待防止セミナー	主任・介護員
	接遇セミナー	主任・支援・介護員
	褥瘡予防（姿勢ケア）研修	褥瘡委員
	運動機能アップ研修会	支援・介護員
	栄養ケア・マネジメントと実務	栄養士
	養護部会生活相談員・支援員	生活相談員・支援員
	養護部会管理者研修	施設長
	老施協県大会・九州大会	主任・支援・介護員他
老施協全国大会	全職員	
病院・保健所・行政関連研修	全職員	
資格	介護福祉士他資格習得対策研修	支援・介護員
	認知症介護実践研修	介護員

12. ご利用者の要望把握

各調査・アンケートをマニュアルに従って実施し要望を把握する。

項目	回数	参 考
嗜好調査	2回	アンケートを行い食事献立、おやつ内容に反映する
希望アンケート	1回	クラブ活動の参加意向を実施する。
家族との話し合い	1回	預かり金の管理及び処遇内容状況説明を実施する。
ご意見箱	常設	

13. 地域社会との協働と社会貢献

社会福祉全般に対する期待に応えるべく、ボランティアや地域の方々など地域福祉資源と連携を図りながら継続的な地域福祉サービスの増進に努める。今後は、各小中学校や保育園との交流機会を設定し、また、社会福祉協議会や各

施設とのとの連携をさらに強化し、地域福祉資源の活用を図っていく。

種 別	時期/回数	内 容
清 掃 活 動	適宜	当施設入り口の県道及び町道の清掃活動
視 察 研 修 受 入	適宜	県立大学生や福祉大学の研修受け入れ
ボランティア連携	適宜	各種演奏団体・民生委員等の慰問演奏活動や地域の小中学校、保育園との交流会
福 祉 相 談	常時	広報誌等で福祉相談についても宣伝活動をおこない、常時受け付けます。

1 4. 防災等安全体制

防災や災害発生時に入所者と職員が一体となって適切な行動が取れるように「朝海荘防災計画」に基づき、消防本部と連携を図りながら消防訓練を実施する。また、消防設備やエレベーター等の保守点検を業者に委託するとともに、点検の際に注意事項等の適切な指導を受け、事故予防、発生の際の対応について研修を受ける。

【訓練・点検等】

訓 練 名	期日/回数	内 容
総合防災訓練	年 2 回 (立合い)	・ 消防訓練 (避難訓練・消火訓練)
	年 2 回 (自主訓練)	・ 消防訓練 (内：夜間 1 回) ・ 災害時訓練
エレベーター緊急 対応訓練	1 回/年	エレベーターに閉じ込められた際の救出についての訓練。
消防設備点検	2 回/年	法にもとづき、スプリンクラー、火災警報器等が正常に作動、及び使用できるか点検をする。
エレベーター点検	1 2 回/年	委託業者による定期点検及び設備補修

防火管理者
(自衛消防隊長)
大角
洋一

連絡・通報班	施設内放送及び消防署への通報 (連絡)
消 火 班	初期消火 (避難・誘導班へ)
避難・誘導班	ご利用者の避難・誘導等
救 護 班	負傷者の応急処置他
安全防護・搬出	安全措置・重要書類等の持出し

令和6年度

事業計画書（案）

特定施設入居者生活介護事業所朝海荘

1. 職員配置

No.	雇用形態	職 種	年齢	備 考
1	正	管 理 者 (兼 務)	65	
2	正	生 活 相 談 員 計 画 作 成 担 当 者	51	介護福祉士、介護支援専門員、アセッサー 外国人生活指導員・技能実習指導員
3	正	生 活 相 談 員	50	介護福祉士
4	契	看 護 師 ・ 機 能 訓 練 指 導 員	56	正看護師
5	パ	看 護 師 (兼)	66	正看護師
6	正	支 援 ・ 介 護 主 任 (兼)	56	介護福祉士
7	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	30	実務者研修
8	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	48	実務者研修
9	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	48	介護福祉士
10	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	23	初任者研修
11	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	51	介護福祉士
12	正	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	20	
13	有	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	41	初任者研修
14	有	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	36	
15	有	支 援 ・ 介 護 員 (兼)	58	
16	継	夜勤専属 (兼 ・ 非常勤)	63	初任者研修
17	継	介 護 員 (非 常 勤)	65	介護福祉士
19	パ	介 護 員	63	ヘルパー 2 級
20	パ	夜勤専属 (非常勤)	65	ヘルパー 2 級
21	パ	介護補助員 (非常勤)	48	初任者研修
22	パ	介護助手 (非常勤)	65	
23	パ	介護助手 (非常勤)	72	ヘルパー 2 級
24	パ	技 能 実 習 生	35	
25	パ	技 能 実 習 生	27	

2 利用者の予定数

令和6年3月1日現在

区 分	人数	合計	平均介護度
要 介 護 1	10	27名 (申請中3名) 合計30名	(2.5) (R5年度2.92)
要 介 護 2	2		
要 介 護 3	4		
要 介 護 4	5		
要 介 護 5	6		
申 請 中	3		

2. 事業目標

養護老人ホーム朝海荘に入居後、要介護状態になっても住み慣れた場所で生活が継続できるよう介護保険法に規定される「特定施設入居者生活介護事業所・介護予防特定」を下記の業務を通じて適切に実施します。令和6年度は、介護報酬単価が改定となり約0.7%アップ、また定員についても25名から30名へ5名の増員となるために増収が見込まれます。と同時に施設に求められる項目も多岐にわたるため、報酬改定の趣旨を熟知し、全職員でよりきめ細やかなサービスを提供します。業務継続計画・高齢者虐待防止・感染症対応力の向上・生産性向上等の勉強会へも取り組んでいきます。

3. 事業内容

① 特定施設サービス計画の作成

計画作成担当者が、利用者又は家族の希望、ご利用者について把握された解決すべき課題に基づき、サービスの目標及びその達成時期、サービス内容ならびにサービスを提供する上での留意点等を盛り込んだ特定施設サービス計画を作成する。

② 処遇（介護）

利用者の心身の状況を踏まえて、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるよう、入浴、排泄、食事、その他の生活全般にわたる支援を適切に行っていく。

③ 相談及び援助

利用者一人ひとりが生きがいをもって生活ができるよう、常に利用者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、利用者又は家族に対しその相談に対し、その相談に適切に応じるとともに、利用者の社会生活に必要な支援を行っていく。

④ 虐待・身体拘束防止

マニュアルに基づきご利用者に対する施設内虐待や身体拘束の防止に努めていく。

4. 利用者の安全確保に関する取り組み

① 防災安全体制

防災予防や災害発生時に利用者職員が一体となって適切な行動がとれるよう、防災計画を策定し消防本部等関係機関と連携を図りながら各種訓練を実施するとともに、消防設備やエレベーター等の保守点検を適切に行い安全管理体制を確保していく。

② 健康管理

利用者一人ひとりが、心身ともに健康で充実した生活がおくれるよう、常に利用者の健康状態に注意をするとともに、協力医療機関と連携を密

にして健康保持のための適切な措置を講じて行く。

5. 家族、地域等との連携（養護老人ホーム朝海荘）

① 交流機会の確保

利用者一人ひとりが生きがいをもって生活ができるよう、常に利用者のご家族と連携を図るとともに、各種イベント等の実施を通して利用者とそのご家族及び地域との交流を確保していく。

② 家族への説明

利用開始時の説明、処遇方針や負担、契約変更に関する説明を適切に行っていく。

③ 関係機関との連携

地域の関係団体及び関係機関とプライバシーに配慮した情報交換を行ない友好関係を構築し連携を図っていく。

6. 運営体制と責任の確保に関する取り組み（養護老人ホーム朝海荘）

① 苦情対応体制

苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を選任し、適切な苦情体制を整備していく。

② 各種委員会や職員会議等で常に事業所の運営体制のあり方及び内部チェック行なう。

③ 秘密保持等

正当な理由がなく、その業務上知りえた利用者又はそのご家族の秘密を漏らすことがないように必要な措置を講じていく。

7. 職員の研修（養護老人ホーム朝海荘）

人材育成基本方針に基づき計画的に職場内研修及び職場外研修を積極的に推進していく。（詳細は養護老人ホーム朝海荘事業計画書）

① 職場内研修（OJT）

介護技術の向上と支援等に関する専門知識の習得のため、キャリア段位制度に取り組みアセッサーによる研修を計画的におこなう。

② 主な職場外研修（OFF-JT）

長崎県老人福祉協議会他関係団体主催の島外研修及び上五島保健所、上五島病院主催の研修に参加する

8. 法令順守の取り組み（養護老人ホーム朝海荘）

関係法令を順守するとともに、全職員を対象としたコンプライアンス研修の充実を徹底していく。

9. 外国人技能実習生

ミャンマーから2期生となる外国人技能実習生が7月より勤務しています。2月には介護技能実習評価試験（筆記・介護技術試験）に合格し、日本語検定N2合格と介護技術の更なる向上に向け施設全体で支援していきます。また、日本文化を学ぶ機会や体験できる機会を設け地域の一員となるようにあわせて支援します。

令和6年度

予算(案)

拠点区分：朝海荘

朝海荘予算書

(養護老人ホーム・特定施設)

令和6年度	当初	自	令和6年4月1日	至	令和7年3月31日
-------	----	---	----------	---	-----------

事業活動資金収支				
収入の部	予算額	支出の部	予算額	割合
介護保険事業収入	83,000,000	人件費	136,380,000	73.0%
老人福祉事業収入	103,700,000	事業費	30,800,000	16.5%
経常経費寄付金収入	100,000	事務費	14,280,000	7.6%
その他の収入	100,000	債務支出 (借入・利息)	0	0.0%
		その他の支出	0	0.0%
事業活動収入計(A)	186,900,000	事業活動支出計(B)	181,460,000	97.1%
事業活動資金収支差額(C=A-B)			5,440,000	2.9%
施設整備等収入 (寄附・補助金)	1,200,000	施設整備等支出 (償還・固定資産)	2,000,000	
その他の活動収入 (繰入・定期取崩)	426,000	その他の活動支出 (繰入・定期積立)	2,800,000	
施設整備・その他の 活動収入計(D)	1,626,000	施設整備・その他の 活動支出計(E)	4,800,000	
施設整備・その他の活動収支差額(F=D-E)			▲ 3,174,000	
予備費支出(G)			0	
当期資金収支差額合計(H=C+F-G)			2,266,000	

令和6年度 拠点：朝海荘 予算（案）

単位千円

科 目	合計	養護老人ホーム	特定施設入居者生活介護事業所	備 考
大区分 中区分 小区分	事業活動による収支 【 収 入 】			
介護保険事業収入	83,000	0	83,000	定員25名→30名へ増員
施設介護料収入	0	0	0	
介護報酬収入				
利用者負担金収入				
居宅介護料収入	83,000	0	83,000	特定施設定員増により介護報酬増
(介護報酬収入)	74,700		74,700	
介護報酬収入	74,700		74,700	
介護予防報酬収入	0		0	
(利用者負担金収入)	8,300		8,300	
介護負担金収入	8,300		8,300	
介護予防負担金収入	0		0	
その他の事業収入	0	0	0	
受託事業収入	0		0	
その他の事業収入	0		0	
老人福祉事業収入	103,700	103,700	0	定員50名
措置事業収入	103,100	103,100	0	介護保険増収により措置費収入減
事務費収入	74,100	74,100		一般10名・障害10名・特定30名
事業費収入	29,000	29,000		
運営事業収入	0	0	0	
補助金事業収入	0	0		
その他の事業収入	600	600	0	契約入所
その他の利用料収入	600	600		
その他の事業収入	0	0		
児童福祉事業収入	0	0	0	
保育事業収入	0	0	0	
就労支援事業収入	0	0	0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	
生活保護事業収入	0	0	0	
医療事業収入	0	0	0	
その他事業収入	0	0	0	
その他の事業収入				
その他の事業収入				
入利息補助金収入	0	0	0	
経常経費寄付金収入	100	100	0	
受取利息配当金収入	0	0	0	
その他の収入	100	100	0	
利用者等外給食費収入	0	0		
雑収入	100	100		自動販売機売上
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	
事業活動収入計 (1)	186,900	103,900	83,000	

令和6年度 拠点：朝海荘 予算（案）

単位千円

科 目	合計	養護老人ホーム	特定施設入居者生活介護事業所	備 考
大区分 中区分 小区分	事業活動による収支 【 支 出 】			
人件費支出	136,380	73,435	62,945	
役員報酬支出	0	0	0	
職員給料支出	80,500	42,000	38,500	常勤職員俸給・諸手当
職員賞与支出	17,000	8,500	8,500	常勤職員賞与
非常勤職員給与支出	19,000	12,000	7,000	非常勤職員給与
退職給付支出	1,380	935	445	退職共済金
法定福利費支出	18,500	10,000	8,500	社会保険料
事業費支出	30,800	21,680	9,120	
給食費支出	15,000	15,000	0	食材料費
介護用品支出	400	100	300	介護用品等
保健衛生費支出	1,200	400	800	利用者健康診断料・消毒等
医療費支出	0	0	0	
被服費支出	100	50	50	利用者寝具等
教養娯楽費支出	500	200	300	各種行事費用
日用品費支出	600	200	400	利用者洗剤等日用品費
本人支給金支出	200	200	0	利用者支給金
水道光熱費支出	7,000	3,000	4,000	電気・ガス・水道代等
燃料費支出	3,200	1,300	1,900	灯油・重油等
消耗器具備品費支出	1,500	500	1,000	消耗品・器具備品等
保険料支出	350	350	0	損害保険料
賃借料支出	200	100	100	カラオケリース料
教育指導費支出	50	30	20	利用者リハビリ材料
葬祭費支出	0	0	0	
車両費支出	500	250	250	燃料費・車輛検査等
生活補給金	0	0	0	
雑支出	0	0	0	
事務費支出	14,280	6,720	7,560	
福利厚生費支出	800	500	300	職員健康診断
職員被服費支出	200	100	100	職員白衣・予防衣等
旅費交通費支出	400	200	200	職員出張費（業務）
研修研究費支出	600	300	300	職員研修費（研修）
事務消耗品費支出	1,000	500	500	事務用品・消耗品
印刷製本費支出	600	300	300	パフォーマンス料
水道光熱費支出	800	300	500	電気・ガス・水道代等
燃料費支出	320	130	190	灯油・重油等
修繕費支出	1,000	500	500	自家発電バッテリー交換他
通信運搬費支出	500	300	200	電話料金
会議費支出	40	20	20	職員会議時
広報費支出	60	30	30	広報誌等
業務委託費支出	2,000	1,000	1,000	診療業務委託他
手数料支出	300	200	100	振込手数料等
保険料支出	500	250	250	火災保険・自動車保険料他
賃借料支出	2,400	1,200	1,200	複合機・食器消毒・乾燥機他
土地・建物賃借料支出	170	170	0	新上五島町土地代
租税公課支出	40	20	20	重量税他
保守料支出	1,000	500	500	建物・各種機器保守点検料
渉外費支出	200	50	150	利用者・家族慶弔費
諸会費支出	150	150	0	各協会会費
雑支出	1,200	0	1,200	技能実習生管理費他
就労支援事業支出	0	0	0	
支払利息支出	0	0	0	
その他の支出	0	0	0	
流動資産評価益等による資産減少額	0	0	0	
事業活動支出計（2）	181,460	101,835	79,625	
事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）	5,440	2,065	3,375	

令和6年度 拠点：朝海荘 予算（案）

単位千円

科 目	合計	養護老人ホーム	特定施設入居者生活介護事業所	備 考
大区分 中区分 小区分	事業活動による収支 【 収 入 】			
施設整備等補助金収入	1,200	0	1,200	長崎県介護ロボット導入補助金
施設整備等寄付金収入	0	0	0	
設備資金借入金収入	0	0	0	
固定資産売却収入	0	0	0	
その他の施設設備等による収入	0	0	0	
施設設備等収入計 (4)	1,200	0	1,200	
	施設整備等による収支 【 支 出 】			
設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	
固定資産取得支出	2,000	0	2,000	
土地取得支出	0	0	0	
建物取得支出	0	0	0	
建物附属取得支出	0	0	0	
車輛運搬具取得支出	0	0	0	
器具及び備品取得支出	2,000	0	2,000	眠りスキャンアイ2台他
その他の固定資産取得支出	0	0	0	
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
その他の施設整備等による支出	0	0	0	
施設設備等支出計 (5)	2,000	0	2,000	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	-800	0	-800	
	その他の活動による収支 【 収 入 】			
長期運営資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0	
長期運営資金借入金収入	0	0	0	
長期貸付金回収収入	200	0	200	
積立資金取崩収入	0	0	0	
事業区分長期貸付金回収収入	0	0	0	
拠点区分長期貸付金回収収入	0	0	0	
事業区分間繰入金収入	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
サービス区分間繰入金収入	0	0	0	
その他の活動による収入	226	226	0	
その他の活動収入計 (7)	426	226	200	
	その他の活動による収支 【 支 出 】			
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
長期貸付金支出	0	0	0	
積立金資産支出	2,000	1,000	1,000	施設整備積立金
事業区分間長期貸付金支出	0	0	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
事業区分間長期借入金返済支出	0	0	0	
拠点区分間長期借入金返済支出	0	0	0	
事業区分間繰入金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	800	300	500	本部会計へ
サービス区分間繰入金支出	0	0	0	
その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計 (8)	2,800	1,300	1,500	
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	-2,374	-1,074	-1,300	
予備費支出 (10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	2,266	991	1,275	
前期末支払資金残高 (12)	101,885	41,840	60,045	
当期末支払資金残高 (11) + (12)	104,151	42,831	61,320	

令和6年度 養護老人ホーム朝海荘 予算（案）

単位千円

科 目	予算現額	前年度予算額 (補正後予算)	差引増減額	備 考
大区分 中区分 小区分	事業活動による収支 【 収 入 】			
介護保険事業収入	0	0	0	
施設介護料収入				
介護報酬収入				
利用者負担金収入				
居宅介護料収入				
(介護報酬収入)				
介護報酬収入				
介護予防報酬収入				
(利用者負担金収入)				
介護負担金収入				
介護予防負担金収入				
その他の事業収入				
受託事業収入				
その他の事業収入				
老人福祉事業収入	103,700	109,683	-5,983	特定施設増収により措置費減
措置事業収入	103,100	107,100	-4,000	定員50名
事務費収入	74,100	75,700	-1,600	一般10名・障害10名・特定30名
事業費収入	29,000	31,400	-2,400	
運営事業収入	0	2,183	-2,183	
補助金事業収入	0	2,183	-2,183	
その他の事業収入	600	400	200	契約入所
その他の利用料収入	600	400	200	
その他の事業収入	0	0	0	
児童福祉事業収入	0	0	0	
保育事業収入	0	0	0	
就労支援事業収入	0	0	0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	
生活保護事業収入	0	0	0	
医療事業収入	0	0	0	
その他事業収入	0	0	0	
その他の事業収入				
その他の事業収入				
借入利息補助金収入	0	0	0	
経常経費寄付金収入	100	1,200	-1,100	
受取利息配当金収入	0	0	0	
その他の収入	100	220	-120	
利用者等外給食費収入	0	0	0	
雑収入	100	220	-120	自動販売機売上
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	
事業活動収入計 (1)	103,900	111,103	-7,203	

令和6年度 養護老人ホーム朝海荘 予算（案）

単位千円

科 目	予算現額	前年度予算額 (補正後予算)	差引増減額	備 考
大区分 中区分 小区分	事業活動による収支 【 支 出 】			
人件費支出	73,435	75,850	-2,415	
役員報酬支出	0	0	0	
職員給料支出	42,000	44,000	-2,000	常勤職員俸給・諸手当
職員賞与支出	8,500	9,500	-1,000	常勤職員賞与
非常勤職員給与支出	12,000	11,500	500	非常勤職員給与
退職給付支出	935	850	85	退職共済金
法定福利費支出	10,000	10,000	0	社会保険料
事業費支出	21,680	23,530	-1,850	
給食費支出	15,000	15,000	0	食材料費
介護用品支出	100	100	0	介護用品等
保健衛生費支出	400	600	-200	利用者健康診断料・消毒等
医療費支出	0	0	0	
被服費支出	50	50	0	利用者寝具等
教養娯楽費支出	200	200	0	各種行事費用
日用品費支出	200	300	-100	利用者洗剤等日用品費
本人支給金支出	200	150	50	利用者支給金
水道光熱費支出	3,000	3,500	-500	電気・ガス・水道代等
燃料費支出	1,300	1,600	-300	灯油・重油等
消耗器具備品費支出	500	1,300	-800	消耗品・器具備品等
保険料支出	350	350	0	損害保険料
賃借料支出	100	100	0	カラオケリース料
教育指導費支出	30	30	0	利用者リハビリ材料
葬祭費支出	0	0	0	
車両費支出	0	0	0	燃料費・車輛検査等
生活補給金	250	250	0	
雑支出	0	0	0	
事務費支出	6,720	10,770	-4,050	
福利厚生費支出	500	1,400	-900	職員健康診断
職員被服費支出	100	50	50	職員白衣・予防衣等
旅費交通費支出	200	100	100	職員出張費（業務）
研修研究費支出	300	350	-50	職員研修費（研修）
事務消耗品費支出	500	700	-200	事務用品・消耗品
印刷製本費支出	300	350	-50	パフォーマンス料
水道光熱費支出	300	400	-100	電気・ガス・水道代等
燃料費支出	130	150	-20	灯油・重油等
修繕費支出	500	1,200	-700	自家発電バッテリー交換他
通信運搬費支出	300	350	-50	電話料金
会議費支出	20	10	10	職員会議時
広報費支出	30	20	10	広報誌等
業務委託費支出	1,000	2,000	-1,000	診療業務委託他
手数料支出	200	300	-100	振込手数料等
保険料支出	250	500	-250	火災保険・自動車保険料他
賃借料支出	1,200	1,300	-100	複合機・食器消毒・乾燥機他
土地・建物賃借料支出	170	170	0	新上五島町土地代
租税公課支出	20	40	-20	重量税他
保守料支出	500	1,000	-500	建物・各種機器保守点検料
渉外費支出	50	180	-130	利用者・家族慶弔費
諸会費支出	150	150	0	各協会会費
雑支出	0	50	-50	
就労支援事業支出	0	0	0	
支払利息支出	0	0	0	
その他の支出	0	0	0	
流動資産評価益等による資産減少額	0	0	0	
事業活動支出計（2）	101,835	110,150	-8,315	
事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）	2,065	953	1,112	

令和6年度 養護老人ホーム朝海荘 予算（案）

単位千円

科 目	予算現額	前年度予算額 (補正後予算)	差引増減額	備 考
大区分 中区分 小区分	事業活動による収支 【 収 入 】			
施設整備等補助金収入	0	0	0	
施設整備等寄付金収入	0	0	0	
設備資金借入金収入	0	0	0	
固定資産売却収入	0	0	0	
その他の施設設備等による収入	0	0	0	
施設設備等収入計 (4)	0	0	0	
	施設整備等による収支 【 支 出 】			
設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	350	-350	
土地取得支出	0	0	0	
建物取得支出	0	0	0	
建物附属取得支出	0	0	0	
車輛運搬具取得支出	0	0	0	
器具及び備品取得支出	0	350	-350	
その他の固定資産取得支出	0	0	0	
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
その他の施設整備等による支出	0	0	0	
施設設備等支出計 (5)	0	350	-350	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	0	-350	350	
	その他の活動による収支 【 収 入 】			
長期運営資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0	
長期運営資金借入金収入	0	0	0	
長期貸付金回収収入	0	0	0	
積立資金取崩収入	0	0	0	
事業区分長期貸付金回収収入	0	0	0	
拠点区分長期貸付金回収収入	0	0	0	
事業区分間繰入金収入	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
サービス区分間繰入金収入	0	0	0	
その他の活動による収入	226	226	0	
その他の活動収入計 (7)	226	226	0	
	その他の活動による収支 【 支 出 】			
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
長期貸付金支出	0	0	0	
積立金資産支出	1,000	0	1,000	施設整備積立金
事業区分間長期貸付金支出	0	0	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
事業区分間長期借入金返済支出	0	0	0	
拠点区分間長期借入金返済支出	0	0	0	
事業区分間繰入金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	300	300	0	本部会計へ
サービス区分間繰入金支出	0	0	0	
その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計 (8)	1,300	300	1,000	
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	-1,074	-74	-1,000	
予備費支出 (10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	991	529	462	
前期末支払資金残高 (12)	41,840	41,311	529	
当期末支払資金残高 (11) + (12)	42,831	41,840	991	

令和6年度 特定施設入居者生活介護事業所朝海荘 予算(案)

単位千円

科 目	予算現額	前年度予算額 (補正後予算)	差引増減額	備 考
大区分 中区分 小区分	事業活動による収支 【 収 入 】			
介護保険事業収入	83,000	70,000	13,000	定員増による増収
施設介護料収入	0	0	0	
介護報酬収入				
利用者負担金収入				
居宅介護料収入	83,000	70,000	13,000	特定施設定員増
(介護報酬収入)	74,700	63,000	11,700	25名→35名へ
介護報酬収入	74,700	63,000	11,700	
介護予防報酬収入	0	0	0	
(利用者負担金収入)	8,300	7,000	1,300	
介護負担金収入	8,300	7,000	1,300	
介護予防負担金収入	0	0	0	
その他の事業収入	0	0	0	
受託事業収入	0	0	0	
その他の事業収入	0	0	0	
老人福祉事業収入	0	0	0	
措置事業収入	0	0	0	
事務費収入	0	0	0	
事業費収入	0	0	0	
運営事業収入	0	0	0	
補助金事業収入	0	0	0	
その他の事業収入	0	0	0	
その他の利用料収入	0	0	0	
その他の事業収入	0	0	0	
児童福祉事業収入	0	0	0	
保育事業収入	0	0	0	
就労支援事業収入	0	0	0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	
生活保護事業収入	0	0	0	
医療事業収入	0	0	0	
その他事業収入	0	0	0	
その他の事業収入				
その他の事業収入				
貸入利息補助金収入	0	0	0	
経常経費寄付金収入	0	0	0	
受取利息配当金収入	0	0	0	
その他の収入	0	0	0	
利用者等外給食費収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	
事業活動収入計(1)	83,000	70,000	13,000	

令和6年度 特定施設入居者生活介護事業所朝海荘 予算（案）

単位千円

科 目	予算現額	前年度予算額 (補正後予算)	差引増減額	備 考
大区分 中区分 小区分	事業活動による収支 【 支 出 】			
人件費支出	62,945	53,480	9,465	
役員報酬支出	0	0	0	
職員給料支出	38,500	30,500	8,000	常勤職員俸給・諸手当
職員賞与支出	8,500	6,400	2,100	常勤職員賞与
非常勤職員給与支出	7,000	9,000	-2,000	非常勤職員給与
退職給付支出	445	580	-135	退職共済金
法定福利費支出	8,500	7,000	1,500	社会保険料
事業費支出	9,120	7,320	1,800	
給食費支出	0	0	0	食材料費
介護用品支出	300	300	0	介護用品等
保健衛生費支出	800	600	200	利用者健康診断料・消毒等
医療費支出	0	0	0	
被服費支出	50	50	0	利用者寝具等
教養娯楽費支出	300	200	100	各種行事費用
日用品費支出	400	300	100	利用者洗剤等日用品費
本人支給金支出	0	0	0	利用者支給金
水道光熱費支出	4,000	3,500	500	電気・ガス・水道代等
燃料費支出	1,900	1,500	400	灯油・重油等
消耗器具備品費支出	1,000	500	500	消耗品・器具備品等
保険料支出	0	0	0	損害保険料
賃借料支出	100	100	0	カラオケリース料
教育指導費支出	20	20	0	利用者リハビリ材料
葬祭費支出	0	0	0	
車両費支出	250	250	0	燃料費・車輛検査等
生活補給金	0	0	0	
雑支出	0	0	0	
事務費支出	7,560	6,340	1,220	
福利厚生費支出	300	300	0	職員健康診断
職員被服費支出	100	50	50	職員白衣・予防衣等
旅費交通費支出	200	100	100	職員出張費（業務）
研修研究費支出	300	150	150	職員研修費（研修）
事務消耗品費支出	500	200	300	事務用品・消耗品
印刷製本費支出	300	300	0	パフォーマンス料
水道光熱費支出	500	400	100	電気・ガス・水道代等
燃料費支出	190	150	40	灯油・重油等
修繕費支出	500	50	450	自家発電バッテリー交換他
通信運搬費支出	200	150	50	電話料金
会議費支出	20	10	10	職員会議時
広報費支出	30	20	10	広報誌等
業務委託費支出	1,000	500	500	診療業務委託他
手数料支出	100	50	50	振込手数料等
保険料支出	250	0	250	火災保険・自動車保険料他
賃借料支出	1,200	800	400	複合機・食器消毒・乾燥機他
土地・建物賃借料支出	0	0	0	新上五島町土地代
租税公課支出	20	50	-30	重量税他
保守料支出	500	30	470	建物・各種機器保守点検料
渉外費支出	150	80	70	利用者・家族慶弔費
諸会費支出	0	0	0	各協会会費
雑支出	1,200	2,950	-1,750	技能実習生管理費他
就労支援事業支出	0	0	0	
支払利息支出	0	0	0	
その他の支出	0	0	0	
流動資産評価益等による資産減少額	0	0	0	
事業活動支出計（2）	79,625	67,140	12,485	
事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）	3,375	2,860	515	

令和6年度 特定施設入居者生活介護事業所朝海荘 予算（案）

単位千円

科 目	予算現額	前年度予算額 (補正後予算)	差引増減額	備 考
大区分 中区分 小区分	事業活動による収支 【 収 入 】			
施設整備等補助金収入	1,200	0	1,200	県介護ロボット導入補助金
施設整備等寄付金収入	0	0	0	
設備資金借入金収入	0	0	0	
固定資産売却収入	0	0	0	
その他の施設設備等による収入	0	0	0	
施設設備等収入計 (4)	1,200	0	1,200	
	施設整備等による収支 【 支 出 】			
設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	
固定資産取得支出	2,000	2,000	0	
土地取得支出	0	725	-725	
建物取得支出	0	1,275	-1,275	
建物附属取得支出	0	0	0	
車輛運搬具取得支出	0	0	0	
器具及び備品取得支出	2,000	0	2,000	眠りスキャンアイ 2台他
その他の固定資産取得支出	0	0	0	
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
その他の施設整備等による支出	0	0	0	
施設設備等支出計 (5)	2,000	2,000	0	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	-800	-2,000	1,200	
	その他の活動による収支 【 収 入 】			
長期運営資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0	
長期運営資金借入金収入	0	0	0	
長期貸付金回収収入	200	200	0	
積立資金取崩収入	0	0	0	
事業区分長期貸付金回収収入	0	0	0	
拠点区分長期貸付金回収収入	0	0	0	
事業区分間繰入金収入	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	2,500	-2,500	
サービス区分間繰入金収入	0	0	0	
その他の活動による収入	0	0	0	
その他の活動収入計 (7)	200	2,700	-2,500	
	その他の活動による収支 【 支 出 】			
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
長期貸付金支出	0	0	0	
積立金資産支出	1,000	0	1,000	施設整備積立金
事業区分間長期貸付金支出	0	0	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
事業区分間長期借入金返済支出	0	0	0	
拠点区分間長期借入金返済支出	0	0	0	
事業区分間繰入金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	500	3,000	-2,500	本部会計へ
サービス区分間繰入金支出	0	0	0	
その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計 (8)	1,500	3,000	-1,500	
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	-1,300	-300	-1,000	
予備費支出 (10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	1,275	560	715	
前期末支払資金残高 (12)	60,045	59,485	560	
当期末支払資金残高 (11) + (12)	61,320	60,045	1,275	

